第34回日本義肢装具学会研修セミナーのご案内

現在，地域包括ケアシステム導入に伴い，急性期から生活期まで一人の対象者を多職種で連携し，支援していく方向へ進んできています．病院の機能分化や在宅支援を中心とした支援形態への変化により，より専門性と連携が重要視されています．その中で，医療従事者も一人の方に長くかかわることが難しくなり，装具処方やその後の使用状況についても把握することができず，予後をふまえた装具の選定が適切に行われているのか明らかではありません．そこで，脳卒中片麻痺者の治療，生活場面で用いられる下肢装具について，急性期から生活期における多職種のかかわりを紹介し，様々な視点・長いスパンで症例を捉え，片麻痺者の装具療法について再考すべく，下記の内容で本研修セミナーを開催いたしますのでご案内申し上げます．皆さまの多数のご参加を心からお待ちしております．

また，第1日目のセミナー終了後に意見交換会を開催いたします.講師の先生方も交えて食事をしながら歓談し，皆様で楽しく語りあえる場にいたしましょう．こちらの意見交換会へのご参加もぜひお願いいたします.

テーマ：　『脳卒中片麻痺に対する下肢装具　～多職種の視点より装具療法を再考する～』
日　時：　平成30年7月28日（土）～29日（日）
会　場：TKPガーデンシティ横浜　カンファレンスルーム7・8
　　（JR横浜駅きた東口A徒歩5分）

＜プログラム＞
【7月28日(土)】
13：00～　受付
13：30～13：40　開会あいさつ
13：40～14：40　「装具の支給状況」
　横浜市更生相談所
　横井 剛 先生(医師)
14：50～15：40　「痙縮治療を併用した下肢装具のリハビリテーション」
　千葉県千葉リハビリテーションセンター
　菊地 尚久 先生(医師)
15：50～16：50　下肢装具を使用したリハビリテーション
　横浜市立脳卒中・神経脊椎センター
　萩原　章由　先生(理学療法士)
17：00～17：50　日常生活活動で下肢装具に求められる機能
　神奈川県立保健福祉大学
　隆島　研吾　先生（理学療法士）
17：50～18：00　1日目終了あいさつと意見交換会のご案内
18：00～19：30　意見交換会
　TKPガーデンシティ横浜
【7月29日(日)】

9：00～　　受付
9：30～10：30　在宅生活片麻痺者における装具使用状況や問題点
　　株式会社 COLABO
　　久米　亮一　先生（義肢装具士）
10：40～11：40　在宅生活における下肢装具
　　成田　すみれ　先生（ケアマネージャー）
11：40～12：00　質疑応答
12：00～　　閉会あいさつ
＊都合により講義内容などにつきまして，変更することがございますので，ご了承ください．

参加費：会員　12,000 円　　非会員 14,000 円　　学生 6,000 円
　　＊意見交換会：会員の方は参加費に含まれております．非会員でご参加される方は 2000 円．
定　員：100 名
申込締切：平成 30 年 7 月 13 日（金）（定員になり次第，締め切らせていただきます）

申込方法：
① ～⑧の必要事項を下記のメールアドレスにお送りください（なお，メールの件名を「日本義肢装具学会研修セミナー申込」としていただくよう，お願いいたします）．申込はＰＣメールのみとさせていただきます．申し込みより 10 日以内に申込者の e-mail アドレスに申込受付のご案内をいたします．10 日以上経過しても返信がない場合は，お手数ですが問いあわせ先までご連絡をお願いいたします．
① 氏名（漢字，ふりがな），②所属，③所属先住所，④電話番号，⑤e-mail アドレス(携帯メール不可)，⑥職種，⑦日本義肢装具学会会員・非会員・学生（ただし有資格者の大学院生は学生に含まない），⑧意見交換会参加の可否

参加申込，問い合わせ先
〒238-0013　神奈川県横須賀市平成町 1-10-1
神奈川県立保健福祉大学　保健福祉学部　島津研究室内
第 34 回日本義肢装具学会研修セミナー事務局
幹事：島津　尚子
E-mail ： shimadu.x25＠kuhs.ac.jp